

芸術

教 科	科 目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
芸術	音楽表現	2	3年次・J2	自由選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
Music Note 基礎から学ぶ高校音楽（啓隆社）		ファイル		1年次、2年次に音楽を選択していること。

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
(1) 作曲に関する多様な技法などについて理解するとともに、創造的に作曲するために必要な技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽性豊かな楽曲の構成について考え、表現意図を持つことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
作曲に関する多様な技法などについて理解するとともに、創造的に作曲するために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽性豊かな楽曲の構成について考え、表現意図を持つことができるようにする。	音楽表現の可能性を追求する態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学 習 の 年 間 計 画	学期	学習内容（単元・項目）		月	学習のねらい	評価の観点
	1 学 期	歌唱	・コールユーブンゲン①	4	・音程練習をする。	1 2
		創作1	・創作の基礎	5	・正しい発声を身に付ける。	
		器楽1	・器楽独奏	6	・創作の技法を知る	
			・創作発表	7	・楽器の種類の理解及び選択をする。	
2 学 期	2 学 期	器楽2	・器楽独奏発表	7	・選曲し練習する。	1 2 3
					・基礎的な創作作品を発表する。	1 2 3
					・器楽の独奏を発表する。	1 2 3
					・互いの演奏を評価する。	1 2 3
3 学 期	3 学 期	歌唱	・コールユーブンゲン②	9	・音程練習をする。	1 2
		創作2	・コンコーネ1番、2番	10	・様々なリズムの練習をする。	
		器楽2	・創作の技法	11	・正しい発声を身に付ける。	
			・創作発表	12	・創作の技法を用いて創作する。	
学 習 評 価	規 準	アンサンブル		12	・様々な技法を用いた作品を発表する。	1 2 3
		創作3		1	・互いの演奏を評価	1 2 3
		・創作の仕上げ			・協働しながら表現を工夫する	1 2 3
					・各自の曲を仕上げて発表	1 2 3
学 習 評 価	規 準	・互いの曲を聴き合う			・協働しながら表現を工夫する	1 2 3
					・各自の曲を仕上げて発表	1 2 3
					・協働しながら表現を工夫する	1 2 3
					・各自の曲を仕上げて発表	1 2 3
学 習 評 価	規 準	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度
		○作曲に関する多様な技法などについて理解している。		○音楽性豊かな楽曲の構成について考え、表現意図を持つことができる。		○音楽表現の可能性を追求し、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
		○創造的に作曲するために必要な技能を身に付けている。				

令和6年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	手段	・活動の様子 ・ワークシート ・実技	・活動の様子 ・ワークシート ・実技	・活動の様子 ・ワークシート ・実技
	単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。	
学習上の留意点	・楽器（ピアノ）の基本奏法を身に付けよう。 ・自分から進んで取り組み、自分のできる精一杯を表現してみよう。			